

# 奥日光小西ホテル 温泉分析

## 源泉名及び湧出地

日光湯元温泉	
(源泉名 : 奥日光開発(株)1、2、3、4、5、6、7号 森林管理署 混合泉)	
湧出地	栃木県日光市大字日光字奥日光 1068～はの小林班B地区
分析者	栃木県薬剤師会検査センター
調査及び試験年月日	平成20年5月19日
泉温	70.3度(気温20度)
湧出量	272.71/min(掘さく自噴)
知覚的試験 無色澄明で苦味、渋味及び強硫化水素臭いを有する。	
PH値	6.6

湧出量 温泉許可交付日 【昭和51年10月18日付】 男性大浴場・女性大浴場 ■栃木県指令今保第2138号 ■栃木県今市保険所許可書 【昭和63年8月1日付】 男性露天風呂・女性露天風呂 ■栃木県指令今保第2163号 ■栃木県今市保健所・許可
---

## (1)陽イオン(資料1kg中の成分)

成分名	ミリグラム	ミリバトル	ミリバル%
水素イオン	0.0	0.00	0.00
リチウムイオン	※	※	※
ナトリウムイオン	167.6	7.62	43.59
カリウムイオン	25.3	0.62	3.54
アンモニウムイオン	※	※	※
カルシウムイオン	181.5	8.64	49.46
マグネシウムイオン	5.7	0.49	2.83
アルミニウムイオン	※	※	※
マンガンイオン	3	0.10	0.55
第一鉄イオン	0.1	0.01	0.03
第二鉄イオン	※	※	※
銅イオン	0.0	0.00	0.00
鉛イオン	0.0	0.00	0.00
亜鉛イオン	0.0	0.00	0.00
カドミウムイオン	0.0	0.00	0.00
ストロンチウムイオン	※	※	※
バリウムイオン	※	※	※
クロムイオン	0.0	0.00	0.00
合計	383.1	17.47	100.0

## (3)遊離成分

成分名	ミリグラム	ミリモル
硫酸	0.0	0.00
メタ亜ひ酸	1.1	0.01
メタケイ酸	111.8	1.44
メタホウ酸	23.0	0.55
リン酸	0.0	0.00
非解離成分計	138.0	2.00

成分名	ミリグラム	ミリモル
遊離二酸化炭素	115.1	5.66
遊離硫化水素	32.3	1.26
浴存ガス成分計	147.4	6.92

成分名	ミリグラム	成分名	ミリグラム
総水銀	0.000	鉛イオン	0.00
総ひ素		カドミウムイオン	0.00
銅イオン	0.00	クロムイオン	0.00

## (2)陰イオン

成分名	ミリグラム	ミリバトル	ミリバル%
フッ素イオン	1.1	0.06	0.33
塩素イオン	125.0	3.67	20.62
硫化水素イオン	11.9	0.23	1.29
硫化物イオン	0.0	0.00	0.00
チオ硫化水素イオン			
チオ硫酸イオン	1.4	0.02	0.14
硫酸水素イオン	0.0	0.00	0.00
硫酸イオン	467.4	8.96	50.34
メタ亜ひ酸イオン	0.0	0.00	0.00
炭酸水素イオン	285.0	4.85	27.28
炭酸イオン	0.0	0.00	0.00
メタケイ酸水素イオン	0.0	0.00	0.00
メタケイ酸イオン	0.0	0.00	0.00
メタホウ酸イオン	0.0	0.00	0.00
水素化物イオン	0.0	0.00	0.00
リン酸二水素イオン	0.0	0.00	0.00
リン酸イオン	0.0	0.00	0.00
ヨウ素イオン			
臭素イオン	0.0	0.00	0.00
亜硝酸イオン	0.0	0.00	0.00
硝酸	0.0	0.00	0.00

合計	891.9	17.79	100.0
----	-------	-------	-------

<その他の微量成分>

泉質:含硫黄-カルシウム・ナトリウム-硫酸塩・炭酸水素塩・塩化物温泉(硫化水素型)  
(中性低張性高温泉)

<小西ホテルの温泉について>

湯船の掃除の時に70.3度の温泉が流れ落ちる為に加水しております。但し湯舟の温度調整後は、温泉の温泉の量を調整し40℃～42℃に設定をします。大浴場・露天風呂とも白い白濁の硫黄泉ですが天然のため、雨等が多く降ったりすると多少灰色になることあります。温泉の分析は10年に一度奥日光開発様(温泉供給業者)が行っております。このデータは平成20年5月19日に検査・平成20年7月25日に温泉分析書原本コピーから作成したものです。合計の合わないのは小数点0.00以下の数字が有るので合計が合わないと栃木県薬剤師会様のお答えでした。この温泉は奥日光湯元温泉の各旅館にパイプを使いバック(温泉を一時蓄える各旅館小屋)から引いています。

奥日光小西ホテル